

### H30年度「進路だより」No.3 キャリアUP!より

学校生活が終わると多くの人が働く生活が待っています。では、働く生活に向けて学校生活の中でどんなことについて考え、取り組んでいけばよいのでしょうか。今回からそういったことについてヒントになるようなコラムを掲載していきたいと思います。働くときに必要な教育と言われるのが**キャリア教育**です。

見出しに「**キャリアUP**」とありますが、「**キャリア教育**」についてあなたはどうか説明しますか？「**キャリア教育**」は、「**児童生徒一人一人の職業観・勤労観を育てる教育**」です。言い換えるなら「**個人が社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度、意欲を形成・向上させるための教育のこと**」です。では、**職業観・勤労観**とはなんでしょう？人が職業や勤労を通してどのような生き方を選択するのかの基準となり、また、その後の生活によりよく適応するための基盤となるものであるとされています。次回は、**職業観**と**勤労観**の内容について具体的に考えていきたいと思います。

### H30年度「進路だより」No.4 キャリアUP!より

前回、キャリア教育には、「**職業観**」と「**勤労観**」を育てることが必要だとお伝えしました。

今回は、「**勤労観**」について考えたいと思います。「**勤労観**」とは、生活意欲を高めることで培われるものと言われており、これには、主体的な生活や自分の役割を果たす生活、周りに貢献できる生活をできるだけ多く体験する必要があると考えられています。このような内容を含む取組は、意識しなくても日々の実践で行われているかと思います。例えば、学校では、活動の際に自分の目標を考えたり、意思を伝えたりすること、決められた係活動をやりきること、他の人や地域のために清掃活動を行うこと等があげられます。要は、生活の質（QOL）を高めるということですね。

さて一方で、「**勤労観**」が育ってくると「**職業観**」も育つと言われていています。上記のような生活を送る中で、子どもたちは、自分のやりたいことを見つけ、「将来こうなりたい!」「こんな仕事をしたい!」という考えを抱くようになります。そう考えると、学校だけでなく、家庭や、社会の中で、生活の場や年齢に関わらず、子どもたちに「**勤労観**」を意識した生活経験をたくさんできるようにすることが大切です。

次回は、「**勤労観を育てるポイント**」について掲載したいと思います。

### H30年度「進路だより」No.5 キャリアUP!より

◎「**勤労観**」を育てていく上での基本的なポイントを紹介したいと思います。

<基本行動の定着>

・基本行動とは、「**基本的生活習慣**」「日常生活や社会生活において最低必要な基本的な内容（挨拶・返事・要求・マナーなど）」のことを指します。能力・障がいに関係なく、生きていく上で身に付けておかななくてはならない行動と言われています。基本行動は「**正しく、確かに、主体的にできる**」ことを目指して指導・支援を工夫していくことが大切です。

「**正しく、確かに、主体的にできる**」とは、挨拶を例とすると…

「**正しく**」…「おはようございます」「ありがとうございます」等、正しい言葉遣いである。

「**確かに**」…担任等、決まった人だけでなく、誰にでもする。

「**主体的に**」…自分からする。

のようになります。

基本行動を定着させる指導は、「**働く生活**」を実現するために必要な能力や態度の基盤であると考えられます。これが定着できれば人生の質の向上も期待できるということになるので、ぜひ考えていきたいですね。

### H30年度「進路だより」No.6 キャリアUP!より

今回は「勤労観」を育てていくために、基本的行動の定着が大切であるという話をしました。

今回は、基本的行動を定着するための支援のポイントを紹介します。

「基本行動」獲得の支援ポイント

#### 1、一人でできること

・「自立」が目標である限り、あくまで一人でできることが前提です。

#### 2、社会生活に通用する正しい手順・方法でできること

・社会生活に通用するとは、1人でできるための合理的・効率的・機能的な正しい手順・方法を身につけることです。

#### 3、場所・環境が変わってもできること

・社会生活を送る上では、場所や人的・物的環境が変わっても1人で正しくやり遂げる力を身に付けることが大切です。

この3つが満たされた行動（「基本行動」）が身に付いてはじめて、子どもは自ら考え、主体的に行動することができるようになります。

○「基本行動」の評価基準は「できる」か「できないか」ではなく、「いかに正しく確かにできるか」「社会生活を送る上で通用するものであるかどうか」です。つまり、「基本行動」の確立の鍵は、「でき方（過程）」にあります。

（参考文献 愛媛大学教育学部附属特別支援学校著 将来の「働く生活」を実現する教育：キャリア教育に基づく支援内容・方法の検討）

### H30年度「進路だより」No.7 キャリアUP!より

今年度は、「キャリアUP!」として「進路を考えるために必要な力」を育てていくためにはどういう力が必要かということをもとめ、コラムとして載せてきました。進路を考えていくためには、高等部だけ頑張ればよいものではなく、小学部・中学部のうちから「勤労観」「職業観」を育てていくことが必要だという話題が以前に出ていました。

今年度の「キャリアUP!」では、以下のような内容をお伝えしていきました。

ポイント①基本的な行動（あいさつ・返事・要求・マナーなど）は小学部から取り組むことができます。

ポイント②基本的な行動の定着が「働く意欲」（職業観）につながります。

ポイント③勤労観のある人は生活の質も向上します。

学生生活は、長くても高等部の3年生までしかありません。少しでも早く取り組んでいくことが重要になっていくと思います。そのためのヒントになればと思います。